授業科目名・形態	公衆衛生学　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	宮崎　航・菅原　馨悟	実務経験の有無	有	開講期	２年前期
科目ナンバー	C2-2005pht				

【授業の主題】

集団の健康を守り、疾病を予防するために行われる公衆衛生活動の基礎知識、考え方、実践方法について学修する。また、集団の健康を脅かす近年の様々な問題について議論し、公衆衛生学的な視点を身につけることを目指す。

【到達目標】

1. 健康の定義と公衆衛生の基本的な考え方ならびに公衆衛生活動について学識を得る 。
2. 保健統計と疫学の基本について学び、様々なライフスタイルにおける健康増進と疾病予防について理解する。
3. 医療者として必要な基礎知識を習得するとともに、臨床において活きる公衆衛生の考えと技術を修得する。

【授業計画・内容】第１回～第 12 回は宮崎、第 13 回～第 15 回は菅原が担当。括弧は教科書の対応する章を示す。

第 1 回　健康の概念と公衆衛生学（第１章）
第 2 回　人口統計と保健統計（第２章）
第 3 回　衛生行政と地域保健（第３章）
第 4 回　疫学（第４章）
第 5 回　母子保健、学校保健（第５、６章）
第 6 回　成人保健（第７章）
第 7 回　食品衛生・国民栄養（第１０、１１章）
第 8 回　高齢者保健、社会福祉と社会保障（第８、１３章）
第 9 回　精神保健、障害者保健（第１４章）
第 10 回　産業保健（第１５章）
第 11 回　環境保健（第１２章）
第 12 回　感染症、国際保健（第９、１６章）
第 13 回　タバコとアルコール
第 14 回　薬害・薬物乱用
第 15 回　生活習慣病・難病

【授業実施方法】

主に講義形式で行う。

【事前・事後学習】

各回に対応する教科書の章を読んで予習し、不明な点、重点を置いて学ぶべき点を明らかにしておくこと。講義後、教科書並びに配布資料を用いて復習すること。事前学習・事後学習を毎回２時間以上すること。

【主な関連する科目】

保健・医療と法律、保健師課程科目

【教科書等】

よくわかる専門基礎講座　公衆衛生　第 17 版（金原出版株式会社）、配布資料

【参考文献】

国民衛生の動向（厚生労働統計協会）
公衆衛生がみえる（メディックメディア）

【成績評価方法】

筆記試験 80%、レポート 15%、授業態度 5%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院薬剤科にて勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

日本を含め、世界では常に公衆衛生の関係する健康問題が発生しています。日々、各種問題について積極的に触れるとともに、公衆衛生の観点から考えを巡らせ、理解を深めましょう。